

H. P. Report

ホームページのアクセス制御 (7)

今回作成したアクセス制御するホームページのディレクトリは、次のような構造になっています。

```
root
| - index.htm
| - accessディレクトリ
| - dataディレクトリ
| - levelディレクトリ
```

accessディレクトリには、アクセス制御プログラムの本体、ユーザデータ (ID、パスワードなど)、logデータがあり、dataディレクトリにはホームページ本体のデータ、levelディレクトリにはファイルごと、ディレクトリごとに設定するアクセスレベルの設定ファイルが入っています。このうち、DATAディレクトリはアクセス制御プログラムの中でパラメータとして設定するので、ホームページを見ているだけでは、そのディレクトリ名はわからないようになっています。ただ、わかったとしてもホームページを作成する場合に、リンク設定をすべてこのアクセス制御プログラム経由にすることによって、いちいちパスワードをチェックするのでそのまま開けることはできません。次にlevelディレクトリの内容ですが、この仲のディレクトリ構造は、dataディレクトリの構造とまったく同じにしなければなりません。つまり、ホームページを変更してディレクトリを増やした場合、このlevelディレクトリも同じ名前ディレクトリを追加する必要があります。その中でどのようにレベルを設定するかは後で説明します。

最初に開くのはもちろんrootディレクトリのindex.htmです。この中でアクセス制御プログラムをまず起動し、ユーザID、パスワードを入力するようにします。前に説明したとおり、ここで入力したIDとパスワード、アクセス時間はcookieに記録されます。次に、これもアクセス制御プログラムにパラメータとして設定してある、最初のページをオープンすることになります。最初にオープンするページは内容のあるものでもいいのですが、オープンしてすぐにリンク先へ飛ぶようなページにしておくのも1つのやり方です。

では、アクセスレベルの設定についてです。最初に作ったプログラムの場合、次のようなリンクの指定でした。まず失敗作の説明です。

```
www.xxxx.co.jp/access/access.cgi?level=3&add=home&data=top.htm
```

アクセス制御プログラム(ここではaccessディレクトリのaccess.cgi)を指定して、そのあとにレベル(設定3)、ファイルの入っている場所のディレクトリ(dataディレクトリはプログラム上にパラメータとして設定してあるのでそれからのディレクトリ)と最後にファイル名(wordなどの場合は、word=xxx.docとなる)を指定します。この設定でページをすべて移行したのですが、ここで気づいたのが、たとえばIEのアドレス欄にこの設定が表示され、ユーザがレベル1(通常guestレベル)であった場合アクセス権限が無いということになるのですが、このアドレス欄の表示は簡単に書き込むことができますから、レベルを「1」に変更してenterを押すことによって本来はアクセスレベル3であるものがレベル1になってしまうことになります。それであわててプログラムの変更となったわけです。同じようにcgiプログラムにパラメータを渡しているものがあったら試してみてください。(次回に続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 4月12日号

特集 アナログ-デジタル協調設計

→アナログ回路が使用通りの性能を出さないなどのアナログ回路開発のトラブルに対処する方法としてデジタルの機能で対処するなどアナログとデジタルの協調設計が注目されている。

解説 日本勢をアジア・欧州勢が猛追 ケータイもDVDも戦国時代に

→世界最大のエレクトロニクスIT関連の展示会CeBIT2004で携帯電話、デジタル家電などで韓国、台湾などのアジア勢以外にドイツ、英国などの欧州勢が注目を浴びた。メガピクセル搭載のケータイやDVDレコーダなど、いろいろな機能搭載で日本企業の世界進出へ対抗する。

○日経パソコン 4月12日号

特集 奇跡のリカバリー

→パソコンを使っているといろいろなことがある。使っていくうちの關懷がたまって動作が遅くなったり、ウイルスに感染したり。それに対処するためにDドライブを使う。アプリケーション以外のデータはもちろん、CドライブのバックアップもDドライブに作る。Dドライブ大きければ問題ないが、Dドライブが無ければ作り、もしできればバックアップツールで処理できるようにする。

○DOS/V magazine 5月1日号

特集 ハード&ソフト無料パワーアップ術

→パソコンの性能をアップするのにまず考えるのはパーツの増強、交換。しかしその前に、アプリケーションにしても、市販のものと同程度のフリーソフトはいろいろある。お金をかけないで、ハードのパワーアップは環境設定、ソフトのパワーアップはフリーソフトと、使えるものは使ってみよう。